

2010年5月17日経営会議の概要

日時	2010年5月17日（月）午前9時～午前10時30分
出席者	委員・幹事：市長、鷺北副市長、浜副市長、政策経営部長、総務部長、財務部長、政策経営部経営改革室長、政策経営部広報広聴担当部長、政策経営部企画政策課長、政策経営部秘書課長、政策経営部広報広聴課長、総務部法制課長、総務部職員課長、財務部財政課長 説明： 財務部長、財政課長、財政課担当課長
議事内容	議題 新公会計制度の今後の取り組みについて （財務部） 《付議の目的》 ○ 町田市新公会計制度導入検討委員会報告書に基づいて取り組むことについて承認を受ける。 《提案の概要》 現在、地方財政は深刻な収支減に直面し、厳しい財政運営を行わなければならない状況となっている。一方で、市は、市民・納税者に対して、納められた税金等の使い道や運用状況、財政状態をわかりやすく説明する責任がある。このような状況の中で、平成18年度総務省の地方行革新指針では、資産・債務に関する情報開示と適正な管理をいっそう進めることを目的として、財務諸表4表を地方公共団体単体及び関連団体等も含む連結ベースで整備することが制度化された。町田市においても、「総務省方式改訂モデル」により平成20年度決算から財務諸表4表を作成している。また、平成20年度に「町田市新公会計制度導入検討委員会」において検討を行い、今後の方向性を報告書としてまとめた。この報告書をもとに、今後は、町田市の会計に発生主義会計を導入し、財務諸表を作成する。また、固定資産台帳の整備を行い、すべての資産の評価額、耐用年数、減価償却額等の資産管理を行う。 《主な意見》 ○ なぜこの制度を導入するか、制度導入の趣旨を職員が理解し、情報を活用して業務を行うことが必要である。 《会議結果》 提案を承認する。上記意見に留意して、取り組みを進めていくこと。